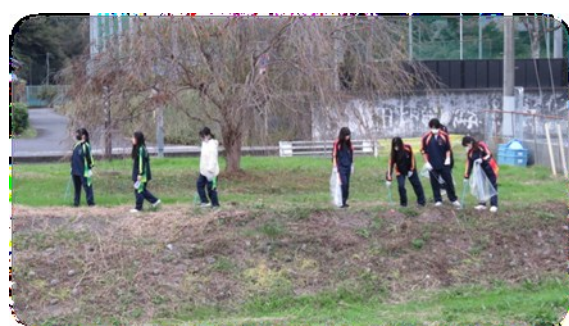
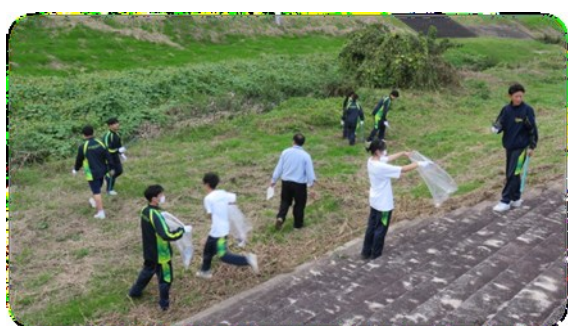


校長室より ～「新・山吹の風」 No.18 R6.11.20 ～

幼い頃、縁側で祖母が干柿を作ってくれていた記憶があります。渋柿の皮を剥き、天日に干すと、やがて白い粉を噴き、渋が抜けて甘くなります。お日様の力をいただいて出来た甘さは飽きが来ない自然な甘さで、大好物でした。ごくまれに干し柿をいただく機会に恵まれますと、優しく大好きだった祖母を思い出しながら、しみじみと味わうことにしています。

山国や星のなかなる吊し柿 木内 彰志



さて、本校の秋の一大イベントである「源氏川清掃」も無事終わりました。学校周辺を6つのコースに分けてゴミを拾うというもので、今年も沢山の生徒が参加してくれました。正門のところで皆さんの様子を見ていましたが、とても丁寧に取り組んでいましたね。「清掃」という行為は「心を整えていくこと」でもあるというのは、清掃後の皆さんのすっきりした表情が示してくれました。本校がお世話になっているこの地域を常日頃からきれいにしていきたいものです。

足止めて干し柿の庭見つめをり 幸恵

